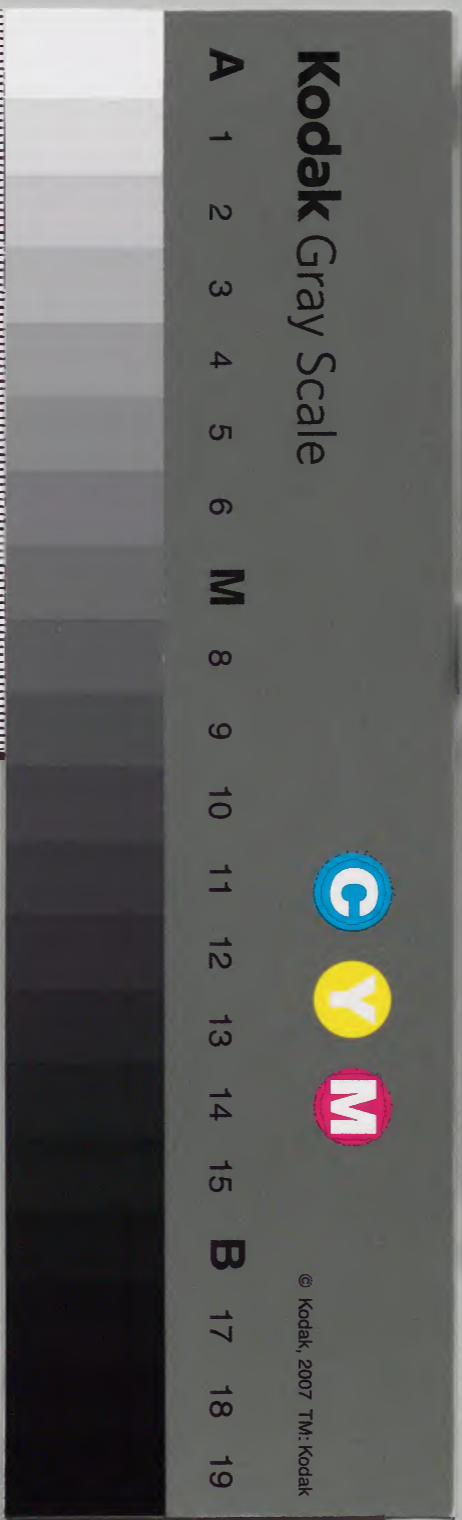


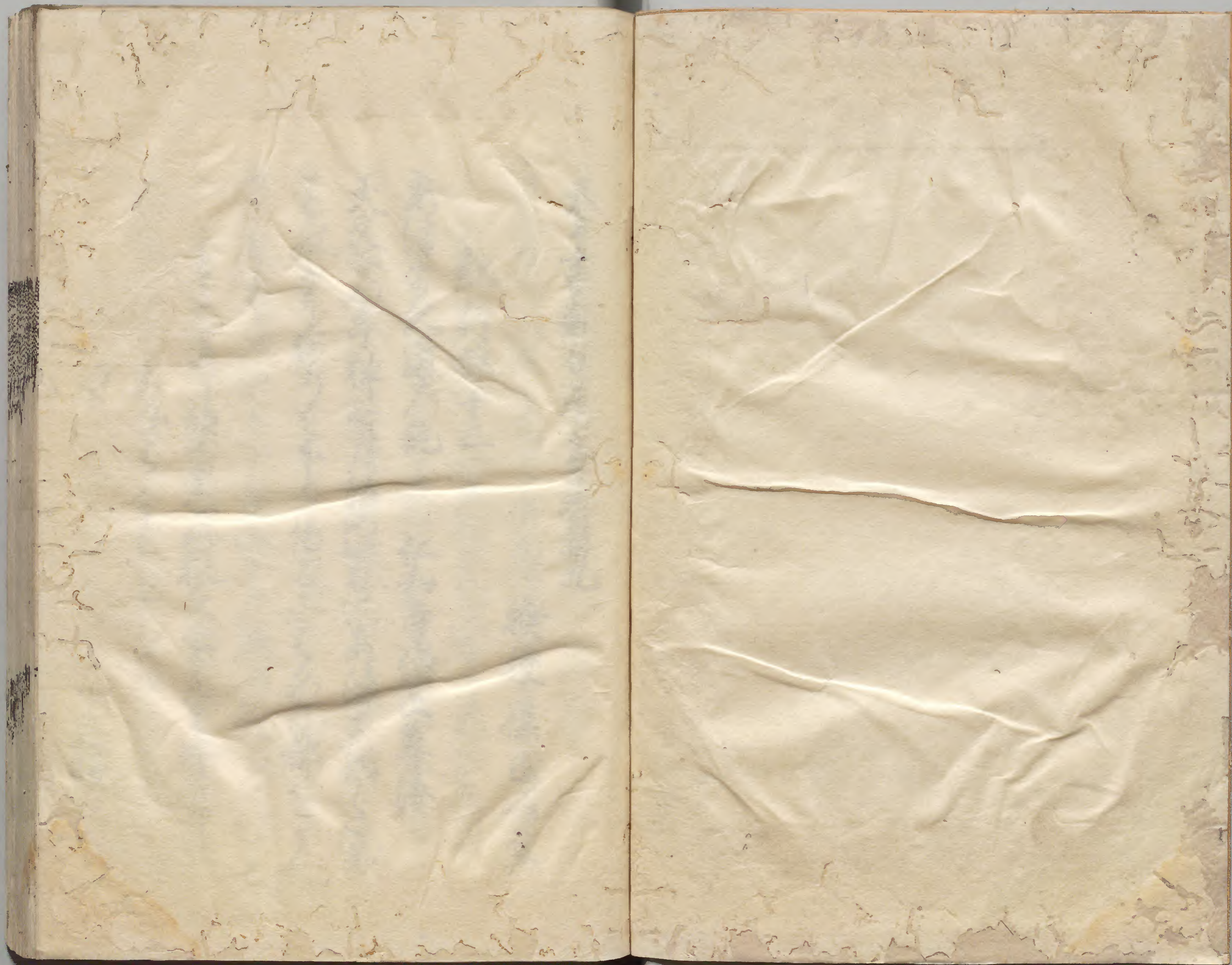
庫	文	閣	内
六	三		和
函	八		書
二	九		
六	八		
架	冊	號	類

秀書目録

三百二十九

内閣文庫		
番號	和	38368
冊數	91 (73)	
函號	261	8





羣書類從卷第三百卅九

檢校保巳一集

紀行部十三

あはゆの道乃記 仁和寺僧正尊海

天交二万神皇月後の四日いあはゆの道乃記
いふれあうあひて下り侍るふらるる都をいん
あはゆの道乃記

逢坂の山をいあはゆの道乃記
あはゆの道乃記

あはゆの道乃記

醒井花里こく溜瀧のりからるる

あつちのりからるる日影のりからるる

日影のりからるる候ふりからるる

あつちのりからるる

あつちのりからるる日影のりからるる

不破花園を乃あつちのりからるる

あつちのりからるるあつちのりからるる

あつちのりからるるあつちのりからるる

あつちのりからるる

あつちのりからるるあつちのりからるる

あつちのりからるるあつちのりからるる
あつちのりからるるあつちのりからるる
あつちのりからるるあつちのりからるる
あつちのりからるるあつちのりからるる

あつちのりからるるあつちのりからるる

あつちのりからるるあつちのりからるる

あつちのりからるるあつちのりからるる

あつちのりからるる

あつちのりからるるあつちのりからるる

あつちのりからるるあつちのりからるる

今昔の事

昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事を知るは人の心を知るに似たり

今昔の事

道芝
久風

己酉制詔女補館より一應身初

津より海軍部よりおのりて

道芝

きんぎょありておのりて

等尻

... 美しき月よりおのりて

通直

船より制一人よりおのりて

彼處所よりおのりて松風

おのりておのりて松風

彼處よりおのりて

船よりおのりておのりて

船よりおのりておのりて

人

船よりおのりておのりて

海

船よりおのりておのりて

是のりたるは

不小庵よりおのりて

おのりておのりて

おのりておのりて

おのりておのりて

おのりておのりて

あはれなるものなるを我も今物とていふ事
 おもひの無川にくもをいふ事とて思ひをたつて思
 むらさきもさかきも
 国にさかきもさかきも思ひをたつて思
 又よのあまも夕言集にきくかたに都をいへ
 後と後と
 おもひの目も思ひの思ひをたつて思
 小春もさかきも
 まるく思ひをたつて思ひの思ひをたつて思
 菊川もさかきも

冬はあはれなるものなるを我も今物とていふ事
 思ひの無川にくもをいふ事とて思ひをたつて思
 むらさきもさかきも
 国にさかきもさかきも思ひをたつて思
 又よのあまも夕言集にきくかたに都をいへ
 後と後と
 おもひの目も思ひの思ひをたつて思
 小春もさかきも
 まるく思ひをたつて思ひの思ひをたつて思
 菊川もさかきも

川をたぐりて海にまはるる月をうらむ
志のこころは海の大井にまはるる
えりてはみちをうらむ
...
富士をまはるる
...
思ひ出

海乃浦にまはるる月をうらむ

星の光をうらむ
星の光をうらむ
星の光をうらむ

海乃浦にまはるる月をうらむ
星の光をうらむ

海乃浦にまはるる月をうらむ
星の光をうらむ

海乃浦にまはるる月をうらむ
星の光をうらむ

海乃浦にまはるる月をうらむ
星の光をうらむ

是より世音のぬきて道芝離るれ経丹を踏次
あつとらりあり

花を我あつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり

花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり

花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり

花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり

是より世音のぬきて道芝離るれ経丹を踏次
あつとらりあり

花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり

花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり

花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり

花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり
花のよもつとらりあり

ふしきふしきふしきふしきふしきふしきふしきふしき
二月十日の東松平の産屋敷の産屋敷の産屋敷の産屋敷
あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ

月の色はあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ
馬子とにほらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ
同女三月乃東月待じ又一折

あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ
山風はむと峯のあけはらゝあけはらゝあけはらゝ

あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ
あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ

あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ
あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ

あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ
あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ

あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ
あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ

あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ
あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ

あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ
あけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝあけはらゝ

右尊海僧正紀行以大田覃本校合